

取り戻せ！テレビを市民の手に

NHK とメディアの今を考える会
連続シンポジウム

～視聴者運動の現状 & 独立行政委員会制度の提案～



前川喜平氏



杉浦ひとみ氏



砂川浩慶氏

「テレビは報道機関としての役割を果たしていない」「テレビは、政府広報か」と、放送の現状を多くの人達が怒り憂っています。一方で、視聴者・市民の手で「テレビを市民の手に取り戻す」運動もここ数年多彩に展開されてきました。市民・メディア関係者・研究者による研究プロジェクトでは、放送行政に独立行政委員会制度を導入する提言もまとめられています。シンポジウムでは、市民運動のリーダーたちから多様な視聴者運動の現状を聞き、新しい政権の下での放送制度改革の可能性や展望を語り合います。

（第1回）民放の改革迫る新しい市民運動 ～テレビ輝け！市民ネットワーク～

「テレビ輝け！市民ネットワーク」は、市民がテレビメディアの所有者（株主）になって、テレビを内部から変えて行こうというユニークな市民運動です。6月27日にはテレビ朝日の株主総会に乗り込み、「政治的な圧力で公正報道が難しい場合、第三者委員会設置を」などの提案を市民株主が行いました。

<パネリスト>

前川喜平氏（現代教育行政研究会代表・テレビ輝け！市民ネットワーク共同代表）

杉浦ひとみ氏（弁護士・テレビ輝け！市民ネットワーク事務局）

砂川浩慶氏（兼司会・立教大学社会学部教授・「放送を市民の手に：独立行政委員会を考える」プロジェクト代表）

<日時> 2024年9月28日（土）15：00～17：00（開場14：30）

<会場> 立教大学池袋キャンパス7号館7102教室（地図次ページ）

<資料代> 800円（学生無料）

<同時配信> 当該イベントはインターネットを通じオンラインで視聴参加出来ます。
お申し込みは下記URLをクリックしてお申し込みください。

<https://peatix.com/event/4054432/view> 参加費 800円



<主催> NHK とメディアの今を考える会 立教大学社会学部メディア社会学科・砂川ゼミ

（問い合わせ先）丹原美穂 t.miho@galaxy.ocn.ne.jp 090-8955-6050

小滝一志 kotaki@h4.dion.ne.jp 090-8056-4161

<共催> 日本ジャーナリスト会議 日本ジャーナリスト会議・東海、放送を語る会、
メディアを考える市民の会ぎふ、

取り戻せ！テレビを市民の手に

NHKとメディアの今を考える会
連続シンポジウム

～視聴者運動の現状&独立行政委員会制度の提案～

(第1回) 民放の改革迫る新しい市民運動 ～テレビ輝け！市民ネットワーク～

<パネリストプロフィール>

前川喜平氏

現代教育行政研究会代表。1979年文部省（現文部科学省）に入省。大臣官房長、初等中等教育局長などを経て、2016年文部科学事務次官、2017年退官。日本大学文理学部非常勤講師。著書に『面従腹背』『権力は腐敗する』『コロナ期の学校と教育政策』など。

杉浦ひとみ氏

弁護士。日弁連人権擁護委員会、子どもの委員会などの委員。東京大空襲訴訟、安保法制違憲訴訟、原発事故による子どもの甲状腺がん裁判などにかかわる。軍隊を捨てた国コスタリカに学び平和を作る会、平和を求め軍拡を許さない女たちの会所属。

砂川浩慶氏

立教大学社会学部長・メディア社会学科教授。研究テーマは、放送を中心とするメディア産業、メディア政策・法制度、ジャーナリズム論、コンテンツ流通など。著書「安倍官邸とテレビ」「放送法を読みとく」など



(第2回) 公共放送 NHK をめぐる二つの市民運動 ～原点は ETV2001 番組改変事件～

10月13日(日) パネリスト：永田浩三氏 長井暁氏 砂川浩慶氏